

# Markdown記法 サンプル集

tbpgr

# Markdown記法 サンプル集

## 見出し

1個から6個シャープで**見出し**を記述する。 ※シャープと見出し文字の間には半角スペースを1つ入れること

### 記述例

```
# 見出し1
## 見出し2
### 見出し3
#### 見出し4
##### 見出し5
##### 見出し6
```

### 表示例

## 見出し1

## 見出し2

## 見出し3

## 見出し4

## 見出し5

## 見出し6

## 箇条書きリスト

ハイフン、プラス、アスタリスクのいずれかで箇条書きリストを記述可能。 ※ハイフン、プラス、アスタリスクと箇条書きの項目の間には半角スペースを1つ入れること

### 記述例

```
- リスト1
  - ネスト リスト1_1
    - ネスト リスト1_1_1
    - ネスト リスト1_1_2
  - ネスト リスト1_2
- リスト2
- リスト3
```

### 表示例

- リスト1
  - ネスト リスト1\_1
    - ネスト リスト1\_1\_1

- ネスト リスト1\_1\_2
  - ネスト リスト1\_2
    - リスト2
    - リスト3

## 番号付きリスト

数値+半角ドットで番号付きリストを記述可能。番号の内容は何でもいい。実際に表示される際に適切な番号で表示される。そのため、一般的にはすべて 1. 内容 で記載すると変更しやすく楽です。 ※数値+半角ドットと箇条書きの項目の間には半角スペースを1つ入れること

## チェックリスト

- これからやるタスク
- 完了したタスク z

## 記述例

- 1. 番号付きリスト1
  - 1. 番号付きリスト1\_1
  - 1. 番号付きリスト1\_2
- 1. 番号付きリスト2
- 1. 番号付きリスト3

## 表示例

- 1. 番号付きリスト1
  - 1. 番号付きリスト1\_1
  - 2. 番号付きリスト1\_2
- 2. 番号付きリスト2
- 3. 番号付きリスト3

## 引用

- > お世話になります。xxxです。
- >
- > ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。

## 表示例

- お世話になります。xxxです。
- ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。

## 二重引用

### 記述例

- > お世話になります。xxxです。
- >
- > ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。
- >> お世話になります。yyyです。
- >>
- >> あの新機能バグってるっすね

### 表示例

- お世話になります。xxxです。

ご連絡いただいた、バグの件ですが、仕様です。 > お世話になります。 yyyです。 >  
> あの新機能バグってるっすね

## pre記法(スペース4 or タブ)

半角スペース4個もしくはタブで、コードブロックをpre表示できます

### 記述例

```
# Tab
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

---

```
# Space
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

### 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

---

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## code記法

バッククォートで文字列を囲むことでコードの一部を表示可能です。

### 記述例

インストールコマンドは `gem install hoge` です

### 表示例

インストールコマンドは `gem install hoge` です

## 強調: **<em>**

アスタリスクもしくはアンダースコア1個で文字列を囲むことで強調します。見た目は斜体になります。

### 記述例

```
normal italic normal
normal italic normal
```

## 表示例

normal *italic* normal normal *italic* normal

## 強調 : <strong>

アスタリスクもしくはアンダースコア2個で文字列を囲むことで強調にします。見た目は太字になります。

## 記述例

```
normal bold normal
normal __bold__ normal
```

## 表示例

normal **bold** normal normal **bold** normal

## 強調 : <em> + <strong>

アスタリスクもしくはアンダースコア3個で文字列を囲むことで <em> と <strong> による強調を両方適用します。見た目は斜体かつ太字になります。

## 記述例

```
normal bold normal
normal ___bold___ normal
```

## 表示例

normal ***bold*** normal normal ***bold*** normal

## 訂正

これは 訂正 です。

## 水平線

アンダースコア、アスタリスク、ハイフンなどを3つ以上連続して記述することで水平線を表示します。 ※連続するハイフンなどの中にはスペースがあっても良い

## 記述例

```
***
```

```
---
```

```
---
```

```
* * *
```

## 表示例

```
=====
=====
=====
```

## リンク

[表示文字](リンクURL)形式でリンクを記述できます

[Google先生](https://www.google.co.jp/)

[Google先生](https://www.google.co.jp/)

## 定義参照リンク

Markdownの文書の途中に長いリンクを記述したくない場合は、同じリンクの参照を何度も利用する場合は、リンク先への参照を定義することができます。

[こっちからgoogle][google]

その他の文章

[こっちからもgoogle][google]

[google]: https://www.google.co.jp/

[こっちからgoogle](https://www.google.co.jp/) その他の文章 [こっちからもgoogle](https://www.google.co.jp/)

## GitHub Flavored Markdown(GFM)

GitHub Flavored Markdown(GFM)はGitHubの独自仕様を加えたMarkdown記法。以降、GFMと記載します。

### GFM:リンクテキスト簡易記法

URLは記述するだけで自動的にリンクになります。

#### 記述例

```
https://www.google.co.jp/
```

#### 表示例

<https://www.google.co.jp/>

### GFM:取り消し線

チルダ2個で文字列を囲むことで取り消し線を利用できます。

#### 記述例

```
--取り消し線--
```

#### 表示例

~~取り消し線~~

### GFM:pre記法(チルダ×3)

#### 記述例

```
~~~
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
~~~
```

## 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## GFM:pre記法(バッククオート×3)

### 記述例

```
```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```
```

## 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## GFM:pre記法(シンタックスハイライト)

チルダ、もしくはバッククオート3つの後ろに対象シンタックスの言語名を記述します。

### 記述例

```
~~~ruby
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
~~~
```

## 表示例

```
class Hoge
  def hoge
    print 'hoge'
  end
end
```

## GFM:表組み

### 記述例

```
|header1|header2|header3|
|:-|--:|:-:|
|align left|align right|align center|
|a|b|c|
```

## 表示例

**header1 header2 header3**

align left align right align center

a b c

## GFM: ページ内リンク

GitHubのMarkdownを利用すると、見出し記法を利用した際に アンカーが自動的に作成されます。 そのアンカーを利用したページ内リンクを簡単に作成できます。

```
## menu  
* [to header1](#header1)  
* [to header2](#header2)
```

```
<!-- some long code -->
```

```
[return to menu](#menu)  
### header1  
### header2
```

少し省略してますが、こんなかんじのHTMLになります。

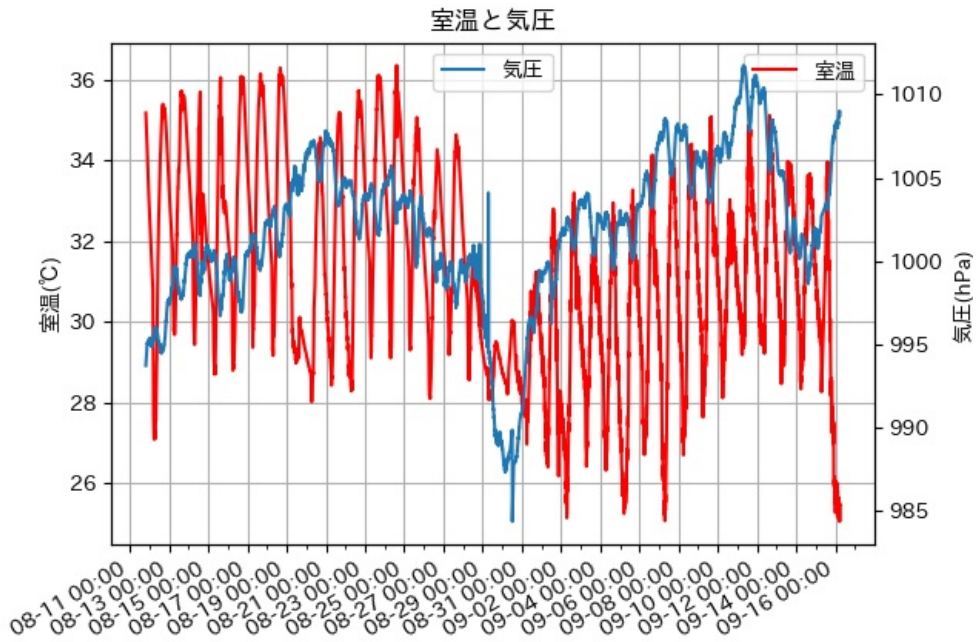
```
<h2><a name="user-content-menu" href="#menu">menu</a></h2>  
<a href="#header1">to header1</a>  
<a href="#header2">to header2</a>  
  
<!-- some long code -->  
  
<a href="#menu">to menu</a>  
<h3><a name="user-content-header1" href="#header1">header1</a></h3>  
<h3><a name="user-content-header2" href="#header2">header2</a></h3>
```

## 表

**TH(左寄) TH(中央) TH(右寄)**

	TD	
TD	改行します	TD
TD	TD	TD

## 添付ファイル



室温と気圧

## 水平線

## 注釈 [NG!]

この引用は[^1][^1]: ○○を参照しています。と注釈を入れられる。

## PlantUML記法 [NG!]

```
Alice -> Bob: Authentication Request
Bob --> Alice: Authentication Response
```

```
Alice -> Bob: Another authentication Request
Alice <-- Bob: another authentication Response
```

```
Alice -> Bob: Authentication Request
Bob --> Alice: Authentication Response
```

```
Alice -> Bob: Another authentication Request
Alice <-- Bob: another authentication Response
```

## 数式 [NG!]

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

## 参照

[QiitaでのMarkdownの使用について](#) [Qiitaの目次生成機能について](#)